

地盤の ボーリング調査 標準貫入試験

環境調査

土壌分析・水質分析

平板載荷試験

スウェーデン式 サウンディング試験



土質試験、現場試験、骨材試験から環境調査まで

すべての建設工事のご要望にお答えします！

調査・試験の計画書作成、調査現場確認、

現地にて試料採取より報告書作成まで完全サポート致します。

また試験結果だけではなく、改善・改良対策の提案等も行っております。

地質調査業登録 質01第2184号

計量証明事業（愛知県）

第886号

打ち合わせや試料採取、即日対応いたします！

御気軽にお問い合わせください！！



株式
会社 **土木材料試験所**

Website: <http://d-ken.com>

E-mail: info@d-ken.com

国部整建産登 第000361号 質01第2184号

計量証明事業(愛知県)第886号

本社

〒451-0062

愛知県名古屋市区花の木一丁目14番28号

TEL: (052)524-3751/FAX: (052)524-0912

岐阜
営業所

〒501-0204

岐阜県瑞穂市馬場春雨町二丁目1番地2号

TEL: (058)327-7349/FAX: (058)326-7791

知多
営業所

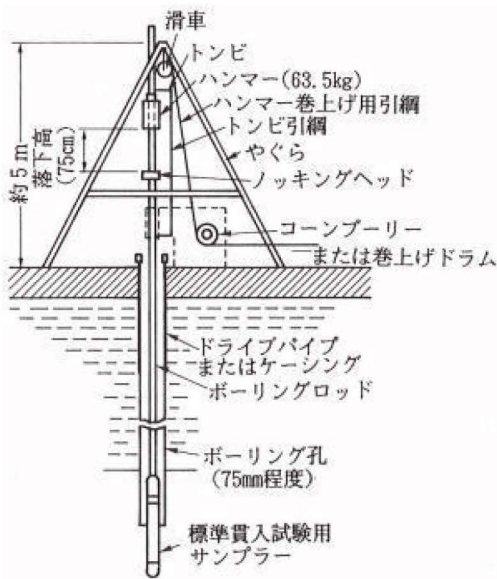
〒476-0011

愛知県東海市富木島町山中187-1

TEL: (052)746-3090/FAX: (052)746-3091

地質調査

ボーリング調査・標準貫入試験



ボーリング調査は正式にはボーリング・標準貫入試験といいますが、あらかじめ所定の深度まで掘進したボーリング孔を利用して1mごとに地盤の硬さを測定する標準貫入試験を行う調査です。

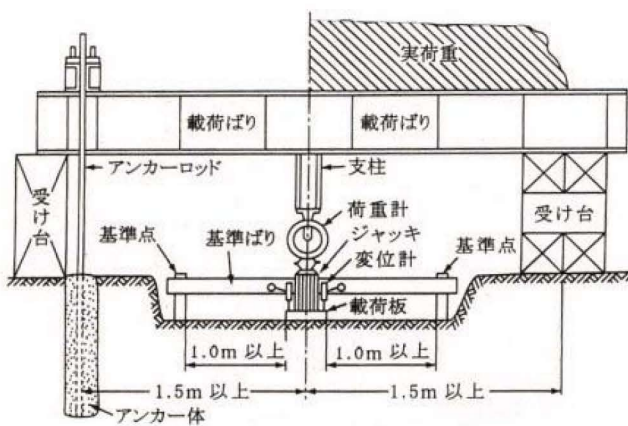
質量63.5kg±0.5kgのドライブハンマー(おもり)を76cm±1cm(30インチ)の高さから自由落下させてボーリングロッドの先端に取り付けられた標準貫入試験用サンプラーを土中に規定貫入量である30cm打ち込むのに要する打撃回数(打撃回数=N値)を測定します。

サンプリング

標準貫入試験用サンプラーは、中空になっているため、試験を実施した区間(深さ)の土質試料を直接採取することができ、土質や地質の状態を直接目視し、地質状況や礫当たり等の特異値を把握して、貫入試験数値との整合性等を確認することができます。

標準貫入試験により採取した土質試料は、土質試験(物理試験のみ、力学試験や単位体積重量の測定を除く)に用いられます。

地盤の平板載荷試験



平板載荷試験は原地盤に載荷板(鋼鉄製、直径30cmの円盤)を設置して油圧ジャッキで地盤に荷重をかけて荷重の大きさと沈下量との関係から、地盤の支持力の特性を調査し、地盤が安全に支持するかを判定する試験方法です。試験に際し、反力荷重が必要となります。反力荷重としては現場の状況に応じてバックホウやH鋼、鉄板などを用います。

構造物の設計荷重確認を目的とする場合、試験最大荷重は設計荷重の3倍以上に設定します。載荷方法には段階式載荷(1サイクル)と段階式繰返し載荷(多サイクル式)があり、目的に応じて載荷方法の選択を行います。